

2014年度「甲南大学経済学会 学生懸賞論文」審査結果報告

厳正な審査の結果、「2014年度 甲南大学経済学会 学生懸賞論文」について、以下のように決定しましたことを報告いたします。(学籍番号順)

【特賞】【佳作】

該当論文無し

以下の論文を『経済学 学生論集』に掲載いたします。

11131017 石川 忠佳 (他 11 名) (柘植ゼミナール)
「甲南大学に TABLE FOR TWO を導入することは可能か」

11131030 井上 真吾 (高ゼミナール)
「円安は日本経済を好転させるのか？」

11131179 瀧田 奈菜恵 (高ゼミナール)
「日本企業が成果主義を導入し、機能させるには」

11231240 中田 翔悟 (森ゼミナール)
「歯並びの改善に消費者はいくら支払ってもよいと考えるのか
—日本人の健康増進のために—」

掲載者の表彰式 (ならびに発表会) は、以下の通り行います。

日時 : 2015年3月4日 (水) 13:00～
場所 : 5号館 2階 524-1 教室

なお、今回の懸賞論文応募者全員に審査員の審査コメントをお渡ししますので、コモンルームにお立ち寄り下さい。特に、掲載者の方には、今後のスケジュールを記した通知書も同時にお渡ししますので、必ずお立ち寄り下さい。

以上